

第3次連結中期人権／人事計画

コスモ石油グループは、人権と人材の多様性を尊重した職場づくりに取り組んでいます。2010年から新たにスタートした「第3次連結中期人権／人事計画」では、コスモ石油および主なグループ会社（18社）で取り組む「グループ共通テーマ」と会社ごとの雇用労働者数に応じて取り組みが異なる「個別テーマ」に分類されます。「グループ共通テーマ」は、「人権尊重」「多様性尊重・機会均等」「心身のヘルスケア増進」「職場と家庭の両立支援」という4テーマで取り組んでいます。

第3次連結中期人権／人事計画の2011年度取り組み状況

※達成度：○達成 △一部達成 ×未達成

テーマ		2011年度の目標	2011年度の実績	目標の達成度
第3次連結中期人権／人事計画 グループ共通テーマ	人権尊重	ハラスメント防止、差別意識の撤廃	人権研修受講率80%以上	人権研修受講率：85%
	多様性尊重・機会均等	公正な採用を継続	障がい者雇用率の維持向上（法定1.8%以上） 対象3社	障がい者雇用率： 達成 COC:2.19% 未達 COS*:1.26%、CEC*:0.67%
	心身のヘルスケア増進	過重労働の禁止、特定健康診断の実施	長時間勤務者の漸次削減（350時間以上/年） *総労働時間低減化へ	長時間勤務者：446名 （2010年度比+87名） 増加要因：震災影響および定期修繕規模拡大のため
	職場と家庭の両立支援	育児・介護休職推進、余暇活動支援	有給休暇取得率 ・コスモ石油：80%以上 ・グループ会社：現状改善	・コスモ石油：86% ・グループ会社：対象会社18社中11社が改善
個別テーマ	次世代育成支援対策推進法への対応	一般事業主行動計画の策定、届け出	対象5社が届け出完了	○

*1 コスモ石油販売(株)

*2 コスモエンジニアリング(株)

人権尊重

人権尊重には多くの施策がありますが、「第3次連結中期人権／人事計画」では「ハラスメント防止および差別意識の撤廃」をテーマとし、その実現のため各事業所における人権研修を実施しています。計画の目標である研修受講率80%以上に対し、2011年度の実績は85%となり目標値を上回りました。2012年度も、さらなる受講率アップに努めます。また、新入社員、新任ライン長など、階層別研修も継続し、複数の研修機会を設けています。

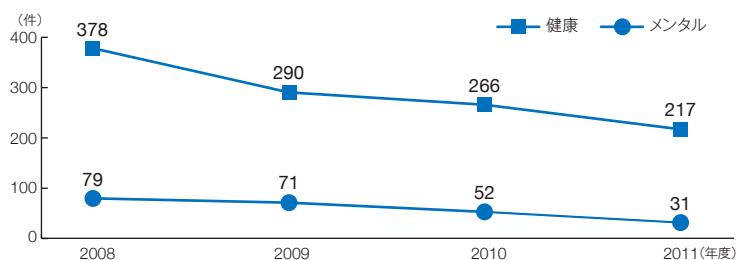
詳細情報 連結中期人権／人事計画

<http://www.cosmo-oil.co.jp/csr/social/employee.html>

心身のヘルスケア

2008年度より義務化された特定健康診断に関して、コスモ石油健康保険組合と連携し本格的に取り組みを開始しました。コスモ石油健康保険組合では、精神科医・心療内科医をはじめとする専門スタッフによる電話健康相談「健康・こころオンライン」を常設し、社員およびその家族のさまざまな相談に対し、即時に責任ある回答ができるよう対応しています。

「健康・こころオンライン」相談件数



多岐にわたる相談内容となっており、健康・メンタルに関する不安、悩みは多様であることがうかがえます。相談件数上位は以下のとおりです。

健康

薬の知識、胃腸の症状、子どもの発熱、インフルエンザなど

メンタル

メンタル不安、子どもの問題、家族の問題、夫婦関係

ワーク・ライフ・バランスへの取り組みを推進

近年では、生き方や働き方に対する多様性の尊重が重視され、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を意識した取り組みの必要性がますます高まっています。コスモ石油グループでは、誰もが働きやすい明るい職場づくりを進めています。コスモ石油グループは、社員一人ひとりの価値観・人生観を尊重し、自らの希望する働き方を実現できるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮したさまざまな取り組みを推進しています。

※コスモ石油在籍および関係会社出向者。

コスモ石油社員数(2012年3月31日時点)

(単位:人)

		男性	女性	合計
コスモ石油		1,797	228	2,025
	組合員	1,371	221	1,592
	管理職	333	5	338
	シニア社員	93	2	95
グループ会社への出向者数		980	93	1,073
	組合員	673	92	765
	管理職	298	1	299
	シニア社員	9	0	9
合計		2,777	321	3,098

※コスモ石油(出向者を含む)の社員を報告範囲の対象としています。
*1 各年度に休職を申請した人数。
()内は各年度中に休職を取得した人数。

産前産後休暇・育児休職取得人数、復職支援ツール受講者数、育児休職取得率

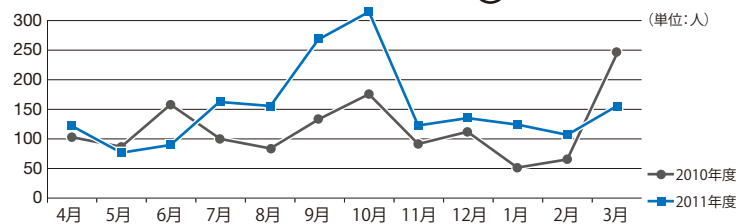
(単位:人)

	2011年度		2010年度		2009年度	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
産前産後休暇取得人数	0	9	0	4	0	6
育児休職取得人数 ^{*1}	1 (1)	5 (12)	2 (2)	5 (9)	2 (2)	4 (10)
復職支援ツール受講者数	0	5	0	4	0	2
育児休職取得率	—	86%	—	75%	—	100%

長時間労働の削減によるヘルスケア

社員のヘルスケア増進のため、「第3次連結中期人権/人事計画」において過重労働の禁止・特定健康診断の実施をテーマとし、「長時間勤務者の漸次削減」に取り組んでいます。コスモ石油グループでは、時間外労働時間の限度時間を月間、年間、それぞれの期間単位で定めていますが、2011年度実績で、年間の長時間勤務者数は446名(前年度比+87名)と増加しました。2011年3月の東日本大震災による被災からの復旧のため、製油所および物流基地を中心に多くの超過勤務が発生したことが要因です。一過性のものと考えますが、改善に着手していく予定です。

月間の時間外労働時間が所定時間を超える勤務者数



労使協調による課題の解決

社員の身分や雇用などの労働条件に影響が生じる場合は、労使双方による事前協議を行うことを「労働協約」に明記し、本社・各事業所において、経営層と労働組合との定期的な協議会や各種委員会を必要に応じて開催しています。

また、労使にて過重労働による健康障がい防止、時短推進などを目的とする「労働時間適正管理検討会」を開催し、協定の遵守および夏季・冬季の長期有給休暇取得を推進しています。

労使による協議会・委員会

会議名	開催数	内容
経営協議会	1回	全体協議(経営施策、意識調査結果など)
中央労使協議会	5回	春季労使交渉
労働時間適正管理検討会	3回	労働時間、休暇取得状況

第3次連結中期安全計画

コスモ石油グループでは、社会の皆様から信頼され、安心していただけるよう、事故や労働災害の撲滅をめざし、2005年度より製造、物流、販売の段階ごとに目標を掲げた連結中期安全計画を策定し、取り組みを進めています。2010年度からの「第3次連結中期安全計画」では、第2次に引き続き「事故ゼロ」をめざした活動を積極的に推し進め、お客様や社会から信頼され、社員が誇れる安全・安心なコスモ石油グループを創り上げる」ことをビジョンに掲げ、安全レベルの向上を図っています。

第3次連結中期安全計画の2011年取り組み状況

※達成度：○達成 △一部達成 ×未達成

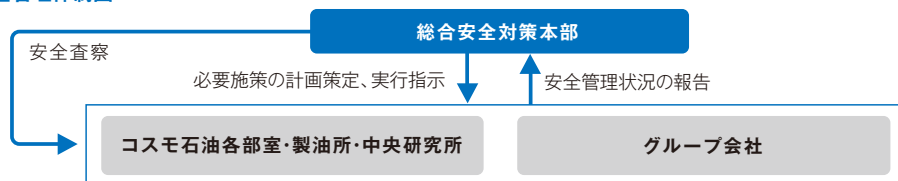
部門/対象	2011年度の目標	2011年度の実績	目標の達成度		
製造部門	4製油所およびコスモ松山石油(株)	・不安全不具合の件数を2011年にベース年*1比90%削減(11件以下)	・不安全不具合件数：111件(ベース年*1比3%削減)	×	
	コスモ石油ルブリカンツ(株)(潤滑油製造)	・労働災害ゼロ ・事故・トラブルの前年比30%削減	・労働災害：1件 ・事故・トラブルの前年比同数(15件)	×	
	コスモ石油ガス(株)(LPG貯蔵・配送)	・事故・トラブルゼロの継続	・事故・トラブル：0件	○	
連結中期安全計画	物流部門	コスモ陸運(株)(陸上輸送)	・混油事故根絶(0件) ・ヒヤリハット提出(目標：1万件)	・混油事故：5件 ・ヒヤリハット提出：約22,000件提出	△
		コスモ海運(株)(海上輸送)	・海上漏洩、座礁事故ゼロの継続 ・機器故障の基準年(2008年)比50%削減	・海上漏洩：0件、座礁事故：0件 ・機器故障の2008年比20%削減(12件)	△
	油槽所	原油外航部	・労働災害ゼロの継続 ・火災/漏洩事故の年平均2件未満	・労働災害：0件 ・漏洩事故：1件	○
			・活動施策の完遂	・運航担当者と船主間でトラブルの原因から対策の協議を徹底し、トラブルが前年12件から5件に減少 ・安全会議を実施し、情報共有化 ・事故発生時の流れを担当者全員で共有化し、緊急連絡網、必要情報等を整理	○
	販売・その他部門	石油製品貿易部	・船舶の動静にかかわる重大事故ゼロ	・船舶の動静にかかわる重大事故：0件	○
		販売部(SS)	・SS工事における労働災害ゼロの継続	・労働災害：0件	○
		事業開発部(コージェネレーション等)	・年間平均事故数1件以下	・事故：0件	○
		研究開発部	・年間トラブル発生件数1件以下	・トラブル：0件	○
		中央研究所	・労働災害ゼロの継続 ・事故・トラブルの対前年比削減	・休業災害：0件(不休業災害：1件) ・事故・トラブルの対前年比25%削減(53件) ・社外事故報告：2件	○
		コスモエンジニアリング(株)	・ゼロ災害の実現(労働災害の確実な削減)	・労働災害の対前年比10%削減(28件)	○

*1 ベース年：2006年9月～2007年8月

グループ横断の安全管理体制

コスモ石油グループは、グループ横断の安全管理組織である総合安全対策本部をコスモ石油本社内に設置しています。毎年定期的開催する本部会議において安全管理に関する重要事項の調整や審議などを行い、各部門および事業所における安全活動の取り組みなどの実行状況を把握し、安全管理体制の充実と取り組みの徹底を図っています。

安全管理体制図



安全査察

総合安全対策本部では、事業所および事業所を統括する本社部門を対象とした安全査察を毎年実施しています。2011年度は千葉製油所を除く3製油所を含む12事業所・部門を対象に安全査察を実施しました*2。特に製油所に対する査察では、社内査察員に本社のみでなく他製油所の人員を加えることで、第三者的視点から、より効果の高い改善・指導を行えるよう工夫しています。

*2 千葉製油所は、2012年4月に2011年度分の安全査察を実施。

2011年度安全査察実施事業所/会社

コスモ石油			グループ会社	
千葉製油所(2012年4月に実施)	坂出製油所	物流管理部	コスモ松山石油(株)	コスモ石油ルブリカンツ(株)
四日市製油所	中央研究所	事業開発部	コスモエンジニアリング(株)	コスモ石油ガス(株)
堺製油所	販売部	研究開発部		